

令和3年度バイオプラスチックビジネス等推進事業補助金
交付決定案件の概要

※事業者名 五十音順

計画名称	相溶化技術の確立によるバイオマスプラスチックの用途拡大に向けた開発
事業者名／所在地	紀伊産業株式会社／大阪市
概要	<p>石油由来プラスチック原料とバイオマスプラスチック原料を混合する際、相溶性が悪い組み合わせがあり、それによる製品強度等の性能低下が課題となっている。</p> <p>本事業では異種プラスチック同士の相溶化技術を確立し、従来製品と同等程度の性能を持つ化粧品容器の製品化を行い、環境に配慮したバイオマスプラスチックの用途を増やすことで、石油由来プラスチックの使用量削減をめざす。</p>

計画名称	天然物資源（セルロース、稲わら、もみ殻他）を混練したバイオマスプラスチックの開発
事業者名／所在地	株式会社テクノベル／大阪市
概要	<p>天然物由来プラスチック材料はごみ袋やレジ袋での採用は多いが、日用品分野での採用はあまり進んでいない。</p> <p>本事業では、セルロースや稲わら、もみ殻等の天然物資源と植物由来プラスチックを混合する複合加工技術の開発を行い、100%天然物由来のバイオマスプラスチック材料を開発する。また、天然物原料の特性を活かした独自の質感や手触りの良さといった付加価値をつけた日用品分野での製品化をめざす。</p>

計画名称	米配合バイオマスプラスチックの開発
事業者名／所在地	株式会社西村機械製作所／八尾市
概要	<p>環境負荷のかからないプラスチックを作ることは社会的課題である。また、国内の米消費量は年々減少しており、農業従事者の減少や耕作放棄地の増加といった問題がある。</p> <p>本事業では、破碎米や肥料米をプラスチックと混練する技術を確立し、まずは地方自治体で使用させるゴミ袋をコメのバイオマス袋へと変えることで、CO2の削減および日本の農業問題の解決に取り組む。</p>